

W i l l ウィル

枚方市男女共生フロアだより 初夏号 平成26(2014)年6月

◆家事場のパパチカラ◆



男女共同参画社会基本法の公布・施行日である平成11(1999)年6月23日を踏まえ、国は毎年6月23日から29日までの1週間を男女共同参画週間としています。

さて、皆さんは「家事場のパパチカラ」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。先日、内閣府が発表した、平成26年度男女共同参画週間のキャッチフレーズです。火事のような切迫した状況のときに、普段では想像できないような力を無意識のうちに発揮することを意味する「火事場の馬鹿力」をもじったフレーズで、「家事なんてできない、できない」と家事を女性のものだと決め付け、遠ざかっている男性も、実際にその場に立つと想像していた以上の力を発揮するかもしれません。これからは男性も家事や育児に積極的に参加していこう！といったような前向きさが感じられるキャッチフレーズです。これは、公募によるものですが、なんとこのフレーズ、山口県のある高校生グループが作ったそうです。

「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」といった凝り固まった性別役割分担意識を取り払い、頭を柔らかくして、この機会に男女共同参画社会について考えてみませんか。

● contents

- (1) ウィルコラム
- (2) 特集「“イクメン”～仕事も子育ても楽しもう～」
- (3) 定例講座のご案内／ウィル講座のご案内／男女共生フロア・ウィル女性のための相談案内
- (4) 新着図書案内

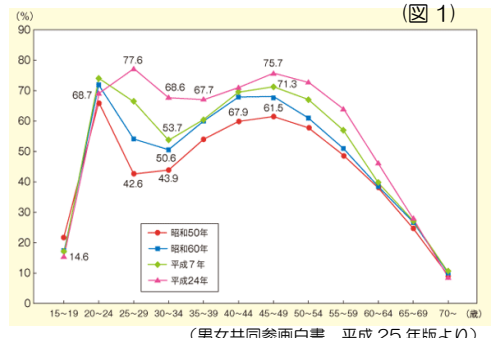
“イクメン” ～仕事も子育ても楽しもう～



男女共同参画白書平成25年版によると、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）という言葉の認知度についての調査では、言葉も内容も知らないと答えた人が50%と半数を占め、言葉も内容も知っていると答えた人は全体の18%にとどまりました。ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活を共存させながら、それぞれが望む人生を生きることを目指す考え方のことをさしますが、まだまだ認知度については低いといえます。

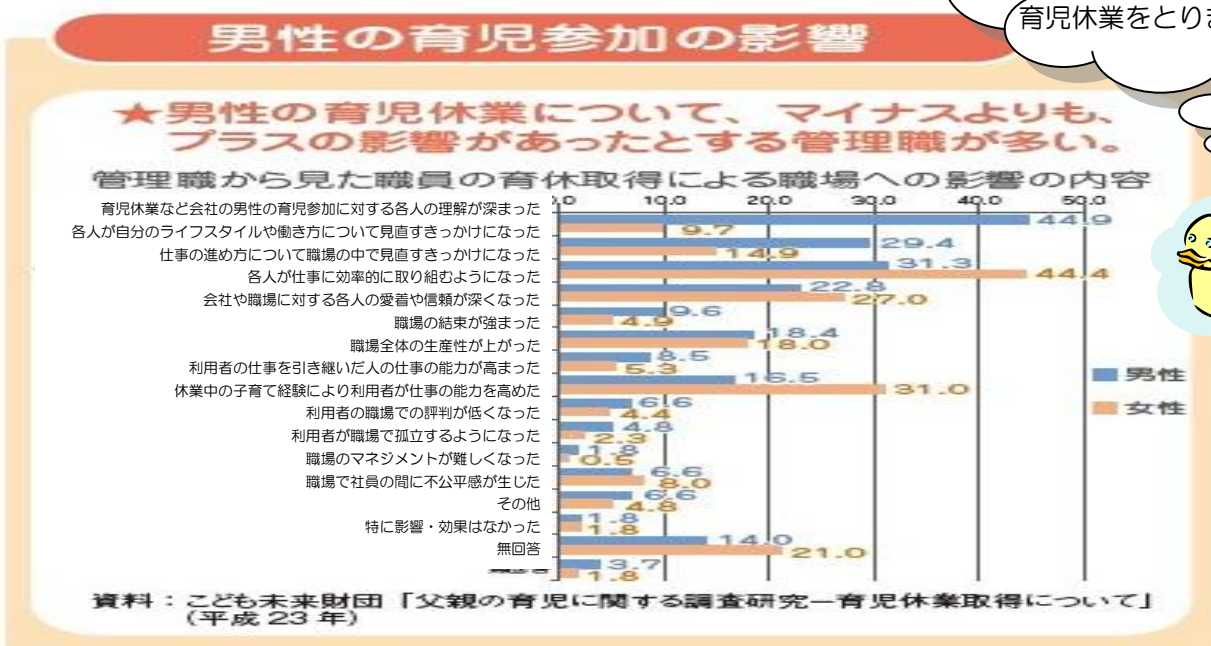
現在、育児休業取得率については女性が83.6%であるのに対し、男性は1.89%（2012年度）と非常に低く、歴然の差がみられます。

みなさんは、「M字カーブ」という言葉を聞いたことがありますか。女性の労働力率を年齢別にグラフ（図1）で表すと、20歳～24歳や40歳～49歳の割合に比べて、25～39歳の値は低くなり、30歳代を底としたM字のカーブを描いています。これは、結婚や出産を機に一旦離職せざるをえない場合が多いためです。年々、M字カーブがゆるやかになってきてはいるものの、日本では未だに男女間で働き方に大きな差異が存在します。その主要な原因の一つに、女性が男性に比べて家庭の責任をより重くになっていることにあると考えられます。6歳未満の子どもをもつ夫の「家事」及び「育児」の行動者率¹をみると、共働き世帯でも、約8割の男性が全く家事を行わず、約7割の男性が全く育児を行っていないという調査結果が出ており、このことから家事や育児は女性のものであると考えている男性が多いことが読み取れます。中でも、男性が育児に関わっていないことが、女性が働き続けることを困難にしています。実際、男性の育児休業取得率が高く、結婚や出産を機に離職する女性が少ないスウェーデンのような国では（男性の育児休業取得率約80%）M字カーブにはなっていません。また、厚生労働省第9回成年者縦断調査によると、夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生割合が高くなるといった調査結果もでています。



現在、日本では「女性の活躍推進」を柱の一つとして掲げており、それに合わせ2020年までに男性の育児休業取得率を13%まであげることが目標としています。13%といってもまだまだ不十分ですが、少しでもイクメンが増加し、M字カーブの解消が期待されることで、お互いのワーク・ライフ・バランスの実現につながっていくのではないのでしょうか。

¹社会生活基本調査において、調査期間中に該当する種類の行動をした人の割合



■定例講座のご案内■

シングルマザーのお気軽サロン

ゆっくりおしゃべりしませんか

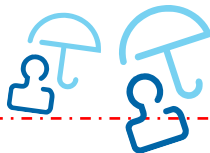
毎日フル回転で、ストレスフルなあなたに。ちょっと手を止めて、他人の話を聞き、自分の思いもしゃべり、「私」の時間をもちませんか。

6月28日(土) 午前10時～12時

7月お休み

8月23日(土) 午前10時～12時

- ◆講師 坂田恭子さん(ファミリーポートひらかた)
- ◆対象 シングルマザーや
シングルマザーになるかもしれない人
- ◆場所 メセナひらかた会館3階 第2会議室
- ◆定員 先着30人
- ◆申込 先着15人 ウィルで受付中(電話可)
- ◆保育 先着10人 6か月～就学前児
要予約 無料



■ウィル講座のご案内■

ウィルわがままサロン

大切な人と豊かな関係をきずくための講座
(全4回)

あなたの大切にしたい人との関係をよくするために、対人スキルを磨いて、もっと豊かな関係をきずきませんか?ロールプレイングを通して、参加者同士の交流をはかり、楽しみながらスキルを身につけましょう。

第1回 6月15日(日) 午前10時～12時
「傾聴力アップ」

第2回 9月21日(日) 午前10時～12時
「よい関係と悪い関係の違いを知る」

第3回 12月21日(日) 午前10時～12時
「大切な人との関係を見つめる」

第4回 2月15日(日) 午前10時～12時
「大切な人との関係を豊かにするためのコツをつかむ」

- ◆講師 井ノ崎敦子さん(徳島大学助教・カウンセラー)
- ◆対象 市内在住・在職・在学の女性
- ◆場所 メセナひらかた会館3階
- ◆定員 先着20人 ウィルで受付中(電話可) 無料
- ◆保育 先着10人 6か月～就学前児 要予約 無料



■男女共生フロア・ウィル 女性のための相談案内■

★ 生き方相談 ★

女性のさまざまな悩みを受け止め、自分自身の力で次へ進めるように女性相談員がサポートします。

要予約。1回50分。

相談日 水曜日:午後1時～9時

(祝日は午後5時まで)

金曜日:午前10時～午後5時

★ 電話相談 ★

電話でも相談ができます。予約不要。

専用電話 072-843-7860

相談日 月曜日:午前10時～12時/午後1時～5時

木曜日:午後1時～4時/午後5時～9時

(祝日は午後1時～5時)

※受付は、各終了時間の20分前まで

★ 法律相談 ★

法律上の問題に女性弁護士が相談に応じます。予約が必要です。1回30分1人1回限り。

相談日 第2金曜日・第3木曜日:午後1時～4時

第1金曜日・第4木曜日:午後5時～8時(祝日除く)

枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」

050-7102-3232(専用電話) 平日 午前9時～午後5時30分

～「DVかもしれない」と思ったら、一人で悩まず相談してください～



ドメスティック・バイオレンス(DV)とは、親密なパートナーからの暴力のことです。「殴る」、「蹴る」という身体的な暴力のほかに、大声でどなったり、無視したりというような精神的に追い詰める暴力もあります。また、行動を監視する行為、性的な暴力もDVに含まれます。



新着図書の一部を紹介しています。

書名	著者	出版社	内容
お嬢さん、空を飛ぶ～草創期の飛行機を巡る物語	松村 由利子	NTT 出版	世間からの偏見や制約のなか、空を目指した女性飛行士の記録を掘り起こす。
親元暮らしという戦略～アコーディオン・ファミリーの時代	キャサリン・S. ニューマン	岩波書店	成人した若者が安定した雇用に就くことができず、親元で暮らすことを余儀なくされる現象が広がっている。
格付けしあう女たち～「女子カースト」の実態	白河 桃子	ポプラ社	女はなぜ、助けあえないのか。女性同士の格付けから見える、旧態依然とした日本の課題に迫る。
家事労働ハラスメント～生きづらさの根にあるもの	竹信 三恵子	岩波新書(岩波新書)	料理・洗濯・掃除・育児・介護など「見えない労働」を担う人々が社会から不当に締め出される実態に光をあてる。
コミュニケーション断念のすすめ	信田 さよ子	亜紀書房	コミュニケーションということばの「いかがわしさ」について、明らかにする。
地震と独身	酒井 順子	新潮社	結婚、仕事、親、将来についてなど、非常時下で、独身者は何を考えて、どう動いたのか。
生活保護VS子どもの貧困	大山 典宏	PHP研究所 (PHP 新書)	生活保護基準の引き下げが行なわれる中、困窮家庭に育つ子どもたちへの支援を含めた視点が求められる。
性と法律～変わったこと、変えたいこと	角田 由紀子	岩波書店(岩波新書)	離婚・親権・DV・賃金差別・性暴力・セクハラなどについて、性をめぐる法の問題点を明らかにする。
生理用品の社会史～タブーから一大ビジネスへ	田中 ひかる	ミネルヴァ書房	なぜ日本では長い間、生理用品が進化しなかったのか。なぜ短期間で進化を遂げたのか。日本独自の発展史を描く。
長女たち	篠田 節子	新潮社	親を見捨てることのできない長女の宿命。親の変容と介護に振り回される女たちを描く。「家守娘」など3編収録。
毒婦たち～東電OLと木嶋佳苗のあいだ	上野 千鶴子 [ほか]	河出書房新社	「ふつうの女たち」のすぐ隣にいる「毒婦たち」についての対談。
なぜ理系に進む女性は少ないのか？～トップ研究者による15の論争	スティーブン J. セシほか	西村書店	理系分野において活躍する女性が少ない原因と結果について、科学的に独自の見解を示す。
日本の女は、100年たっても面白い	深澤 真紀	ベストセラーズ	女マニアでありながら女オンチでもある著者が、「面白い」視点で日本の女性たちを紹介する。
日本の奨学金はこれでいいのか！～奨学金という名の貧困ビジネス	奨学金問題対策全国会議	あけび書房	多くの人が、社会に出る段階で多額の借金を抱え、返済できずに苦しむ奨学金問題を取り上げる。
マタニティハラスメント	溝上 憲文	宝島社	妊娠・出産を契機に、職場で受ける精神的・肉体的な嫌がらせの実態をレポートする。
ルポ産ませない社会	小林 美希	河出書房新社	「妊娠解雇」「職場流産」が横行し、妊産婦が職場でも社会でも孤立する「産ませない社会」を変えるための提言。
わたしはマララ～教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女	マララ・ユスフザイ	学研パブリッシング	タリバンの圧力に屈せず、女性の教育の権利を訴え続ける著者の軌跡。

ウィルは女も男もいきいきと暮らせる社会づくりをめざす枚方市の拠点施設です

枚方市 男女共生フロア・ウィル

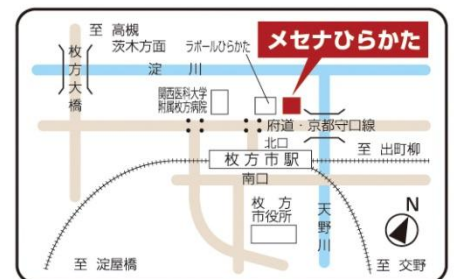


枚方市駅より徒歩約8分

〒573-1191 枚方市新町2-1-5 メセナひらかた会館3階

TEL 072-843-5636 FAX 072-843-5637

開室時間 平日 9:30～21:00 (火曜休室) 土日祝 9:30～17:00



【女性相談のご案内 お問い合わせ申し込みはウィルへ】

電話相談 (専用電話072-843-7860) 月曜日:10:00～12:00/13:00～17:00 木曜日:13:00～16:00/17:00～21:00

生き方相談(面談 要予約) 水曜日:13:00～21:00 金曜日:10:00～17:00

法律相談 (面談 要予約 1人1回限り) 第2金曜日・第3木曜日:13:00～16:00 第1金曜日・第4木曜日:17:00～20:00